

みやけの風

第 85 号

平成14年(2002年)7月6日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「それにしても照らねえな。お天道さんはど〜こ行っちゃったんだかし?」「だ〜からよ。洗濯物も乾かねえし、布団も湿って湿って、ま〜たく、どうしんだじよ〜」「島もよ〜、降ってんすらにな?」「だから。こないだ一時帰宅したっけがよ〜、ま〜ど開けたって湿気しか入ってこんでよ〜。まあ、おらげじゃ家(エ〜)が残ってるだけマシなんだがな」「おうよ、ここへ来て傷んだ〜って感じだじよな」「だから」

みんなの声

「コールボランティア」に参加して

全島避難後、三宅島災害・東京ボランティア支援センターの事業「ふれあいコール」の「コールボランティア」として、活動開始してから早1年半が経過し、月日の流れの早やさ複雑な思いと共に、この様な長い避難生活になろうとは誰が想像した事でしょう。

このボランティアに携わって感じられたのは、いつの時代にも人とのつながり「和」の大切さ。コールを受けてくださる島民の方々が心身共に落ちつかれない中でも、快く対応してくださり、逆に励ましの言葉を頂いた事もあります。時にはお互いに涙する事もあり、その人の温かみにふれ、また、自身の成長につながっていると感謝して居ります。

私も何かお役に立てればとの気持ちから、知人の声かけで始めたのですが、ただ残念

な事に「現在活動する方が少ないのが、寂しいかな〜」です。どなたかご一緒に参加してみませんか?

お電話は、顔が見えない部分で気をつけなければいけない面はありますが、心を持って「耳を傾ける」こと。失敗もありますが、そこは素直に謝りお許しを頂いています。

夫、母、弟と次いで亡くし、これからの人生を三宅でお墓を守りながら永住しようと準備していたところに、初めて体験した噴火に逢い、正直な気持ち残念、「早く帰りたい」この一言です。私も島を離れて21年、知らない方も多いので失礼の数々もあると思いますが、これからもよろしく願いいたします。

「こちらは、三宅島災害・東京ボランティア支援センター、コールボランティアです。こんにちは、お元気ですか?」

(越谷市(阿古)若木 恵美子)

三宅島災害・東京ボランティア支援センターでは コールボランティアを募集しています

電話帳第3版も完成し、新たに移転先などの電話番号をお知らせいただいた方も増えましたので、三宅島島民ふれあいコールもさらにパワーアップして、皆さまのところにお邪魔しようと思っています。7月に入り、延べコール数もいよいよ3900件を越えました。コールボランティアさん、お電話を受けてくださる方々、ありがとうございます。

「私も声かけ電話をしてみようかな」と思った方は、迷わず東京センターまでお電話ください。三宅島社協の金長さんもやさしくお待ちしております。

内 容：島民の方への電話での声かけボランティア
 活 動 日：毎週 火・木・日曜日(都合の良いときを前もってご連絡ください)
 待 遇：交通費は実費・昼食代(1日700円)を支給
 お問い合わせ：三宅島災害・東京ボランティア支援センター **03-3260-7573**

三宅島島民電話帳第3版 贈呈式と発送作業

ほとんどの皆さまのお手元には、もう新しい電話帳が届いていることと存じます。6月30日日曜日に行われた贈呈式と発送作業の様子をご報告します。

朝早くから未だ遅しと待っていてくださった方を始め、各地から集まってくださった60名を越える方々に見守られながら、10時30分より「三宅島島民電話帳第3版」の贈呈式を取り行いました。

発行者である三宅島災害・東京ボランティア支援センター事務局長の上原泰男より、「この中に入っている電話番号が、本当につらくなつたときにお互い支えあう助けになりますように」との願いをこめて、島民連絡会会長の佐藤就之さんに手渡しました。今回も全面的なご協力をしてくださったNTT東日本とNTT番号情報の方々からも「心をこめて作りました。お役立ていただければ嬉しいです」とのメッセージをいただきました。

島民を代表して佐藤会長からは「この電話帳を避難生活の思い出とし、子ども達にもこのことを伝えたい」と感謝の言葉をいただきました。

そのあと早速、電話帳の発送作業に取り掛かったわけですが、さすがの人海戦術で予定より1時間も早く作業は終了しました。お昼のNHKニュースでは、つい先ほどの会場の様子が放送され、思わず拍手も起こっていました。お弁当の昼食を取りながらの交流会も和やかに行われ、島民会で持ち帰って早速配布する地区も含め、宅配便で世話人さんにお送りし手渡しで配っていただく地区や、個別にお送りする方々など村役場に登録されている1907世帯に全てに発送させていただきました。

お礼のお葉書をいただきました。このように喜んでいただける事が何よりです。掲載票の回収をはじめ、お手伝いいただいたすべての方々に心より感謝申し上げます。

(三宅島災害・東京ボランティア支援センター事務局)

【お礼のお手紙の紹介】

前略

本日は又、新しい電話帳をお送り下さいまして有難う御座居ました。

早速、電話番号の解らなかつた人の所へ連絡させて戴きます。

長期にわたるご支援心よりお礼申し上げます。今后共よろしくお願い致します。

7月2日 午後3時20分

(東久留米市 (伊豆) 斉藤 カネ子)

毎日むし暑い日が続きます。いつもお世話になり有りが度う御座居ます。

第3版電話帳発送作業に、私達5人も参加させていただきました。皆様の手ぎわよい作業に感心し、又、NTT東日本、ボランティアのご協力で立派な電話帳が出来上がり、心より御礼申し上げます。

沖縄より青森まで皆さんの心が電話でつながり、帰島できるその日まで助け合って都会生活をのりきって行きたいと思っています。

梅雨明けはまだ先、皆々様御身大切にお務めくださいませ。

(大田区蒲田 (阿古) 佐久間フヂエ)

三宅島島民連絡会より

先日、れんらくかいニュースでお伝えしたとおり、連絡会では島民としての要望を三宅村役場および、村議会に提出しました。議会では、7月10日の議会で取り上げられるとの回答をいただきました。村行政とは7月11日に、村長も交え、連絡会役員このことについて親しく懇談させていただくことになっております。

この経緯については、次回の島民連絡会会議でくわしくご報告をする予定です。**ぜひ、第25回島民連絡会会議へご参加ください。**

日時：7月13日(土) 13:30~

場所：飯田橋セントラルプラザ10F AB会議室